

特別プログラム 美術からの試み

【コーディネーター】横尾哲生（美術家・埼玉大学教授）

【主旨】

昨年度開催された第13回全国研究会[東京大会]のプログラムでは、「美術の活用 療養病床環境において」という主題にて、美術・美術に携わる者と、療養病床環境に携わる方々の協力のあり方を探る第一歩を踏み出しました。将来それぞれの分野が相互に重なる試みは十分ではなかったように思われますが、共に人間、それ自身を認める世界であることから出発する両分野の相互理解、相互作用の必要性、重要性の確認ができたことと思います。

その結果、昨年末から複数の療養病床の現場と、美術家、デザイナーたちとの共同調和による《美術からの試み》が新たに始まりました。そこで、今回のプログラムでは、様々な問題を抱えながらも実践をとおして見えてきた事象・現象を現場の先生方に提示していただきたいと考えております。また、今後重要な問題となっていくであろう人材の育成についても討議していきたいと思えます。

【プログラム 9月8日(金)・9:30～12:00】

9:30～9:50 イン트로ダクション

9:50～10:50 プレゼンテーション（各20分）

角田紘二（角田病院 理事長）

久留征子（日の出ヶ丘病院 看護部長）

本郷 寛（東京藝術大学 教授）

10:50～12:00 ディスカッション

〔座長〕横尾哲生